

一般質問

永藤 貞亮 議員

合併後の町づくり

問 新町のビジョンは

答 横芝と光の両町の持ついろいろな要素を融合し、活力あふれ、豊かで、だれもが住みよい町づくりを進めたいと考えています。町づくりの主役は、町民であり、住民意向調査の結果を踏まえるとともに、両町の総合計画も反映させながら新町の建設計画をとりまとめてまいります。

農業施策

問 ①地域水田農業ビジョンの現況は

②担い手の利用集積と一集落一営農組合づくりについて

③ライスセンターの利用率と有機栽培について

④農山漁村男女参画社会づくりについて

答 ①米政策改革大綱に基づき

地域の創意工夫と地域みずからが産地づくりの設計図である地域水田農業ビジョンを策定することとなっております。本町でも平成16年度の構想および産地計画を4月に策定しています。

②将来の水田農業を担う担い手不足による稲作農家の高齢化などの問題もあります。従来からの家族労働力を中心とした個別農業経営体を育成する方法と地区内農家を構成員として組織化を図った営農組合を育成する方法の両方向で推進を図っています。

③平成15年度の利用実績は、屋形ライスセンター67%、新島ライスセンター81・8%、北清水ライスセンター59%、大総ライスセンター55・04%となっております。有機栽培については、県が推進しJAが実施している千葉エコ米の栽培を導入し、特色ある米づくりの普及拡大に努めています。

す。

④主体的に農業経営に参画する女性の育成に努めるとともに、施策の方針決定の場に参画できる機会をつくろうと努力しています。例として、労働報酬や経営方針決定等の家族経営協定の締結の推進などが挙げられます。

下総線バイパス

問 進捗状況について

答 この道路は国道126号から大総新道までの延長1100m区間のバイパスで県単独事業として平成6年度より進められています。

総事業費15億円で平成19年度完成を見込んでおり、現在、本町住宅区間の400mが完成し、一部は供用を開始しています。今年度は、古川排水路横断の橋梁工事、700mある農地区間の用地約60%の取得等、事業全体の進捗率は、今年度末で約72%に達する見込みです。

川島富士子 議員

教育

問 児童の読書活動の更なる

推進について

答 現在、各学校がそれぞれ創意工夫しながら朝の読書活動を実施しています。

今後とも良書に親しめる環境づくりなど、教育委員会と各学校が十分協議し、読書活動の更なる充実に向け方針を決めて頂きたいと考えています。

福祉

問 高齢者の虐待防止対策の確立について

答 町では、在宅介護支援センターを特別養護老人ホーム吉祥苑（寺方）に委託設置し、24時間体制で高齢者の各種相談に応じています。

今後とも当センターの充実を図りながら高齢者の相談に適切に対応してまいります。

安全安心な町づくり

問 ①通学路の安全確保について

②防犯対策の確立について

③信号機の設置について

答 ①年度当初はもちろん、学期初め、学期終了時のほか、毎月10日は交通指導も兼ねた

点検を実施しています。また、その中で局部的に改良が可能であれば対応してまいります。

②通学途中での不審者対策として、各学校はもとよりPTAや警察官によるパトロールを実施しています。

また、地域のボランティアによる防犯活動を効果的に実施するため、自動車に貼り付けるシールやステッカー類を早急に購入し、事件・事故の未然防止に努めてまいります。

③見通しの悪い交差点については、カーブミラーを設置して、事故防止に努めています。信号機を設置してはとのことですので、警察や公安委員会へ相談し、周辺の安全点検も含め要望いたします。

行政サービス

問 ①ISO14001の認証取得及びKIDS/ISO14001Sの認証取得について

②職員の資質の向上に伴う住民サービスの確立について